

9月定例会号

わかやま 市議会 だより

No.115 令和6年(2024年)11月1日発行

目次

- ・特集 触れて、考え、未来を創る
主権者教育のススメ P2
- ・9月定例会の概要 P4
- ・採決状況 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・市議会からのお知らせ P12

みんな で 創る未来!

初開催 新たな主権者教育の取組
親子DE議会! 自由研究ツアー



特集vol.27

触れて、考え、未来を創る 主権者教育のススメ

主権者教育とは、「社会」や「政治」について、子供たちに興味を持ってもらい、理解を深めたり、自分のこととして考え行動する力を身に付けるための教育です。和歌山市議会では、議員が積極的に携わり、この取組を推進しています。



**市議会初 親子DE議会！
自由研究ツアー！**

初開催となった「第1回親子DE議会！自由研究ツアー」は、7月26日に行われました。小学校高学年のお子さんと保護者を対象に、夏休みを利用して楽しく議会に触れ、体験しながら学んでいただきたいの思いつから実施しました。

議会だよりやSNSで、定員10組の参加者を募集したところ、26組とたくさんの方から申込みがありました。やむなく抽選となりましたが、多くの皆様に興味を持っていただいているイベントであると実感し、大変うれしく、改めて気が引き締められました。

「議会」や「議員」というと、小学生にとっては余りなじみがなく、堅苦しい印象を持たれる子供が多いかと思えます。

そのため、どのようなプログラムであれば、お子さんたちに親しみを感じていただけるか、という点については特に悩みました。

色々なアイデアを出し合いながら打合せを重ね、最終的には、DVD視聴による市議会の概要説明、市議会×クイズ、議会フロアスタンブラリーの3つを行うことに決定しました。

和歌山市議会 主権者教育ロードマップ

小学生

政治に触れる

政治に関心を持ってもらう第一歩！
議会に触れる・体験する



議場見学、議会傍聴、親子DE議会|自由研究ツアー

中学生

政治を考える

和歌山市について考え、提言することで、議会の仕組みを学ぶ



次世代育成支援事業「明日の和歌山市を築くジュニア会議」など

高校生以上

政治に参画する

満18歳で選挙権。政治への参画に向けて、理解を深める



まちづくりや教育などのテーマでの、高校生と議員の意見交換会

議会フロアにあふれる 子供の笑顔

議会についての理解を深めるため、まずは、親しみやすいアニメーションの動画で議会の仕組み等を説明しました。

次に、市議会〇×クイズでは、議会に関する質問だけではなく、今何問目かをクイズにするなど、肩の力を抜いてもらう項目も入れました。

会場である議場に入ってきたときは緊張した表情だった子供たちにも、徐々に笑顔が見られるようになって

いきました。

緊張がほぐれたところで、議会フロアを自由に探検してもらう議会フロアスタンプラリーを行いました。子供たちが自ら考えながら探検できるように、付添いの議員はサポートに徹することを心掛けました。

委員会室でマイクを使って「和歌山市にしてほしいこと」を議員に話したり、議長室で議長や副議長から名刺をもらったり、といったミッションをクリアしてスタンプを集めている間、議会フロアには子供たちの楽しい声が続いていました。

主権者教育改革

和歌山市では投票率の低下、全国的には議員のなり手不足なども課題となっています。

市民の皆様には議会についてご理解いただき、参画していただくためにも、私たち議員一人ひとりが、積極的に改革に取り組んでいく必要があると感じています。

中でも、子供たちへの「主権者教育」への取組の重要性については、全国市議会議長会からの通知にも記載されており、今回の親子DE議会！自由研究ツアーも、その主権者教育の環として行いました。

参加した子供たちのアンケートでは「皆さんが優しくかった」「市議会のことが、よく分かった」「実際の会議も見てみたい」「また来たい」といったうれしい感想が並んでいました。

また、保護者の皆さんからも好評を頂き、次回開催に向けて準備を進めていきたいと考えています。

和歌山市議会では、小学校の皆さんには議場見学・議会傍聴、市立中学生にはジュニア会議（模擬議会）、高校生には意見交換会など、様々な主権者教育を行っています。

その他にも今年度は、私立として

初めて和歌山信愛中学校の生徒が、地域課題の解決策について考えた成果を議場で発表するなど、これまで以上に子供たちにとって親しみやすい議会となっています。

このように、率先して主権者教育に取り組み、子供たちが、自ら考えるような機会を提供することで、次代を担う子供たちにとって身近な議会を目指していきます。

編集後記



この夏、主権者教育の一環として親子で議会に訪れ、市議会の仕組みや役割をクイズやスタンプラリーなどを通じて楽しく学び、自由研究の題材として振り返ることで学びを深められるイベントを開催しました。未来の主権者である子供たちに、地域や社会への関心を持っていただけるような主権者教育の取組を、和歌山市議会は続けてまいります。

特集担当：中谷 謙二、山野 麻衣子、山路 恭世

9月定例会の概要

開会

9月11日

- ・会期の決定(9月11日～10月1日)
- ・議案説明(報告関係5件、議案25件(補正予算案6件、条例案8件、その他11件))

一般質問等

9月13日

- ・志賀弘明議員、山路恭世議員、中庄谷孝次郎議員、森下佐知子議員

9月17日

- ・辻本太一議員、坂口多美子議員、堀 良子議員

9月18日

- ・赤松良寛議員、南畑幸代議員、西風章世議員(P6～P9に概要掲載)
- ・議案の委員会付託

常任委員会

9月19日～25日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

9月26日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決(P10～P11に概要掲載)

特別委員会

9月27日

- ・地震等災害対策特別委員会

閉会

10月1日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(南畑議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件1件)、採決
- ・追加議案の説明(決算関係18件)
- ・決算特別委員会の設置、委員の選任
※決算関係の議案は、閉会中の継続審査
- ・議員発議(委員会条例の一部改正1件、会議規則の一部改正1件、意見書案4件)、採決

令和6年度予算(9月補正後)

一般会計	1,560億6,366万6千円 (補正額14億5,209万4千円)
特別会計及び公営企業会計	1,376億9,151万5千円 (補正額6,734万円)
合計	2,937億5,518万1千円

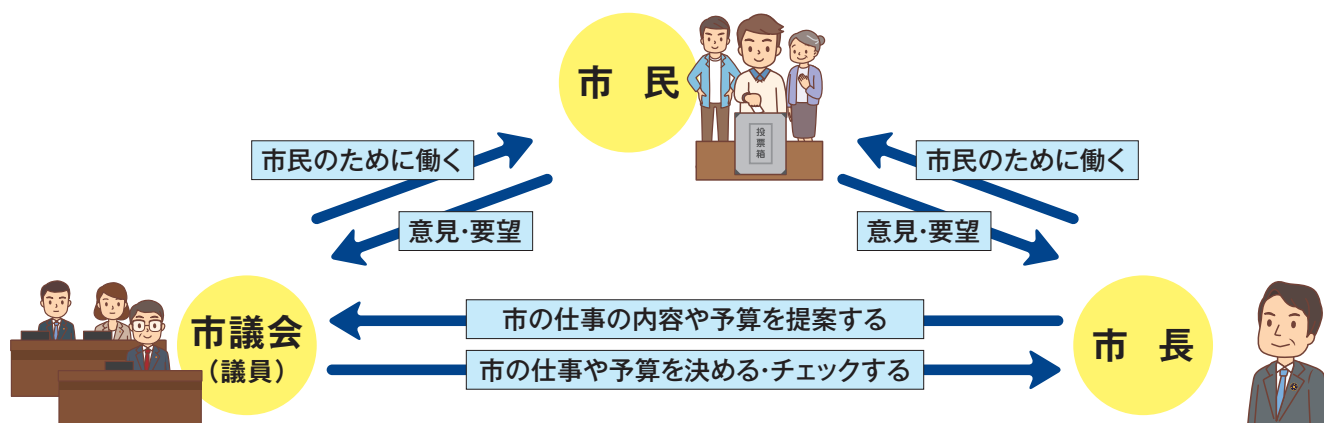
補正予算の概要

一般会計では、民間建築物耐震改修促進事業、防災ラジオ貸与事業、生殖補助医療先進医療費助成事業、野犬対策強化事業、脱炭素化推進事業(公共施設太陽光発電設備等導入事業)、水質汚濁防止事業、夜間中学校教室等整備事業、日本遺産活用環境整備事業などに要する経費が計上されました。

特別会計では、卸売市場事業特別会計で、青果卸売場棟の建替工事において発生した地中障害物の撤去処分等に要する経費のほか、債務負担行為としてインプレスライドの影響による工事費の増額に要する経費が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

議会の仕組み(市民・市議会・市長の関係)



9月定例会採決状況

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「－」、欠席者は「欠」と表記しています。

なお、議長は通常、採決に加わらないため「/」としています。また、議員名は、会派ごとに議席番号順に表記しています。

※採決状況は、市議会ホームページでもご覧いただけます。

Table with 13 columns: 議案番号, 件名, 結果, 創和クラブ, 公明党議員団, 民主クラブ, 和歌山興志クラブ, 日本共産党議員団, 日本維新の会. Rows include various budget amendments and regulations.

※認第1号から同第18号までの議案については、決算特別委員会での閉会中の継続審査に付されたため、一覧に掲載しておりません。

ピックアップ

PickUp! 一般質問

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

創和クラブ



しが ひろあき
志賀 弘明

観光政策

問 昨今、「稼げる観光」が重要視されており、地域経済に持続可能な形で貢献するには、単なる観光客誘致だけではなく、収益性等を意識した政策が必要である。稼げる観光の実現には、市観光協会DMOが、民間

のアイデアを広く活用し、より効果的にその役割を果たすべきであると考えます。

イベントは、地域の魅力を発信し、観光客呼び込む重要な手段であるが、本市で開催されるその多くが小規模であり、特に県外からの集客が十分ではない。

港まつりなど、本市を代表する大規模イベントの評価と改善すべき内容及び多くの観光客を引き付けるための改善策についてどのように考えているか。



港まつり会場の様子

答 港まつりは、今年で72回目を迎え、当日は会場だけでも約3万8千人の観客が集まるなど、和歌山市の夏の風物詩となつていると考えます。県外からの観光客を呼び込むための取組が十分に

ないことが課題と考えており、会場以外での関連イベントの開催を事業者に働き掛けるなど、新たなにぎわいを創出することでイベントの魅力を向上させ、誘客を促進し周遊拠点を増やすことで市内での滞在時間を延長し、観光消費額の拡大につながるよう来年度の取組を現在検討している。

国際交流

問 本市の国際交流を推進するため、外国人観光客や企業を積極的に誘致し、多文化が共生する環境を整備することが重要である。

先日、本市の友好都市である濟南市を訪問した際、本市との経済交流を強く望む声を多く頂いた。

そこで、本市と濟南市はこれまでどのような経済交流を行ってきたか。また、具体的にどのようなプロジェクトや取組があるのか。

答 教育・文化・スポーツなどの分野を中心に交流しており、令和6年8月、本市の中学生24名が「スタディツアー」として、濟南市を訪問し、学生間交流を行った。

次世代を担う子供たちが異なる文化を体験できたことは国際理解を深めるための貴重な経験となった。

濟南市をはじめ友好関係にある都市との経済分野での交流は、これまでに築かれた良好な関係性を生かし、県とも連携しながら様々な方策を検討していく。



濟南市でのスタディツアーの様子

教育政策

問 児童数減少による課題解決のため取り組んだ伏虎義務教育学校の新規開設までの経緯と、開校以来現在の評価はどうか。

答 適正規模化と教育充実の両面を目指す方法が示され、小中一貫校として設置した。評価として、9年間を通して児童生徒に接する

ことで、教職員間で十分な情報共有が図れ、丁寧な指導が行えるため、学習成果や自己成長をより引き出せることなどがある。

問 加太小中学校で実施している小規模特認校の現状と取組内容はどうか。

答 小規模特認校制度の実施により児童生徒数を維持できている。友ヶ島への遠足など地域資源を活用した取組を行っており、今年度、外国語科の専科教員とALTを配置し、英語による対話力向上を目指している。



つじもと たいち
辻本 太一

台湾との国際交流

問 7月28日から7月31日の4日間の日程で、議長をはじめ、日台友好和歌山市議会議員連盟として14名の議員が台湾を訪問した。

本市議会と友好交流に関する覚書を締結している台南市議会が開催する「第10回日台交流サミット in 台南」に参加し、台湾及び

日本の地方議員と友好交流に関する意見交換を行うため、また、同じく覚書を締結している高雄市議会及び市政府を表敬訪問し、相互理解を深め、両市の各分野の交流を進める目的での意見交換を行うためである。

今回、日台友好議員連盟として台湾を訪れ感じたことは、和歌山市・台南市・高雄市の市議会同士の間が、信頼関係である。

我々の訪問でここまで喜んでいただけるのかと、驚きの連続であった。

先輩議員の地道な活動によるこのつながりを受け継ぎ、更に強く大きくし、和歌山市の発展へと展開させていきたいと考える。

また、高雄市議会では若手議員らとも意見交換ができ、これからの未来もこのつながりを大切に、友好関係を築き合っていくと語り合った。

昨年9月定例会の一般質問において「台北・台南・高雄の3市との結び付きを更に深く、そして広げていきたい。高雄市との連携の具体化に向けて、検討を進めて

いく」と答弁されているが、1年がたち、どのように結び付きが進んだか。



台南市訪問の様子

答 高雄市は、更なる成長が期待される大都市である。

高雄市とは、高雄市議会議長と意見交換を行うとともに、陳其邁(ちんきまい)市長との間でも、友好的な関係構築に向けた親書を交換している。

さらには、台湾財界関係者に対してIT企業の誘致に向け立地場所の説明等、本市の立地環境についてPRをする場を頂くなど、様々な機会を通じて、高雄市との連携に関し、実りある交流を行うための検討を、これまで行ってきたところである。

問 和歌山市と台湾との間

には、日台友好議連の活動の下、つながりや信頼関係の礎は十二分にできている。

尾花市長には、和歌山市のために、その礎を様々な面から生かし、発展させ、これまでの経緯を鑑み、いち早く行動を起こしていただきたいと考える。

高雄市の陳其邁市長は、和歌山市と友好都市提携を結びたいとの思いをお持ちである。

尾花市長は、その内容をどう受け止め、今後の対応をどう考えているか。



高雄市訪問の様子

答 令和6年7月に日台友好和歌山市議会議員連盟の皆様が高雄市を訪問した際、陳市長から、本市との交流希望についてお話を頂いたことは、非常に光栄なこ

と受け止めている。そこで、高雄市と友好関係を構築するため、これまで検討してきた内容とともに、和歌山市議会と高雄市民会との友好交流に関する覚書の内容も踏まえ、ビジネスマッチングなどに取り組む「経済分野」、相互誘客に向けた観光PRなどに取り組む「観光分野」、また「文化・スポーツ」といった分野をベースとして、高雄市と速やかな協議を行い、覚書を締結していく。

備、SNSなど工夫を凝らした広報について、強く推進すべきと考えるがどうか。

答 木曜日の給食提供については、実現に向けて検討していく。

施設整備については、園の意見を聞きながら環境整備に取り組んでいく。

今後は、市立幼稚園の魅力を知ってもらえるよう効果的な広報活動に努める。



公共交通における地域拠点

問 公共交通は、人々の居場所づくり、まちのにぎわいづくりに直結しており、まちづくりにおいて大きな要素である。

交通手段の選択肢が少ない高齢者や学生、子供にも配慮し、交通不便地域を

公明党議員団



ほり よしこ 堀 良子

公立幼稚園

問 幼児の教育や保育は、子供にとって社会との初めともいえる関わりを通して、人間形成の第一歩を踏み出す重要な時期である。

市立幼稚園において、木曜日の給食提供の実施、老朽化した施設の計画的な整

むどの地域においても、誰もが便利で快適に暮らせるよう展開すべきである。

乗降者数が多く、公共交通の地域拠点である紀伊駅周辺の安全対策を、早急にすべきと考えるがどうか。

答 駅前広場は狭小で、安全面に課題があることは認識している。さらに、令和6年11月には地域バスが乗り入れる予定である。紀伊駅は重要な交通結節点であり、安全対策等について公共交通事業者や各関係機関と連携し、検討を進めていく。



にしかせ あきよ
西風 章世

子育て支援

問 こども誰でも通園制度は、保護者とともに子供の発育を支えていく制度であり、未就園児に対して同世代の子供と関わる機会を得て、より良い成育環境を提供するという意義がある。市としていつどのような形で、この制度を実施しようと考えているか。

答 令和7年度から試行的に一部実施を検討している。



問 児童福祉を担う「子ども家庭総合支援センター」と母子健康を担う「子育て世代包括支援センター」の機能を統合した「こども家庭センター」が新設された。

誰一人取り残すことのないこどもまんなか社会の構築に向け、今後、子育て支援の大きな役割を担うセンターとなることを期待するが、市長の考えはどうか。

答 支援を必要とする全ての妊産婦、子育て世帯、子供への一体的な相談支援体制を構築することで、個々の家庭に応じた養育支援や児童虐待の未然防止を図り、より安心安全な子育て環境を作ることを目指す。

マイナ保険証

問 医療DXを進めていく上で、多くの方にマイナ保険証への移行を進めることが重要である。安心して利用できるように、利便性や質の高い医療を受けるための基盤となっていくことなどの正しく丁寧な情報発信が必要と考えるがどうか。

答 市報やホームページ等で情報提供するとともに、窓口での各種手続や各種案内の送付時に周知を図る。

民主クラブ



やまじ やすよ
山路 恭世

流産・死産の支援

問 本市の母子保健サポートでは、この世に赤ちゃんを産んだ母親の心のサポートは実施されているのに対し、この世に赤ちゃんを産むことができなかった流産・死産の母親への心のサポートは、母子保健の中から抜

け落ちている。

流産・死産は、かけがえない一人の命、我が子を亡くすことであり、経験者は、赤ちゃんの泣き声が聞こえるのも辛い、誰にも会いたくない、外に出ることすら抵抗のある方もいる。

本市の産後ケア事業には、宿泊型とデイサービス型のサポートがあるが、いずれも対象者が向いて受けられるものであり、グリーフケアの観点からも、限界があるのではないかと考える。

産後ケアのサポートにアウトリーチ型を追加すべきと考えるがどうか。

答 本市の産後ケア事業は、宿泊型とデイサービス型のため、流産・死産等の経験者は、乳児と同じ場所でのケアを行うと精神的負荷を感じるおそれがある。アウトリーチ型については、今後実施に向け準備を進める。

問 グリーフケアの専門的知識が必要と考える。

関係職員のスキルアップについて、早急に実施すべきと考えるがどうか。
答 相談業務に従事する専

門職の知識を深めるのはもちろんのこと、窓口対応の事務職員についても研修体制の充実を図っていく。

一時預かり等の予約オンライン化

問 一時預かり事業の予約開始日には、申請受付が開始されてから予約まで1時間を要し、赤ちゃんを抱えての申請手続が大変だという声がある。

母親の負担軽減のためにも、申請受付について、オンラインでの簡素化が必要だと考えるがどうか。



答 翌月予約の受付開始日は混雑しているため、今後オンライン申請の導入に向け準備を進めていく。

和歌山興志クラブ



あかまつ よしひろ
赤松 良寛

保有財産から見る本市の財務改善

問 市民生活に密着した公園や道路は年々増加しているものの、維持管理予算は微増にとどまっております。所管領域の拡大に予算が追いついていない。市民生活向上に必要なものにはそれに合わせた予算を割り当てるべきであり、その原資の一部は市の保有財産の見直しから生み出せると考える。

答 市の保有財産は、現に活用している行政財産と未活用の普通財産に分類されるが、普通財産は保有している限り、維持にコストがかかるため処分を急ぐべきであり、民間に売却すれば固定資産税の歳入増につながる。保有財産の見直しとして、まずは普通財産の徹底した整理、次に行政財産の利用計画の精査をするべきである。

り、さらに資産の有効活用がある。本市の有効活用として、コミュニティセンターや歩道橋において命名権を販売するネーミングライツの取組を実施している点は評価している。そこで、保有財産について民間への売却の必要性及び見直しについてどのように考えるか。



保有財産の命名権販売(ネーミングライツ)事例

答 売却の必要性は、自主財源確保等の観点からも、境界等登記関連整備が整ったものは速やかに売却や貸付け等を進めていく。

見直しは、施設の利用状況を考慮した上で必要性を検討し、無駄のない公有財産の利活用を行う観点から、各部署と情報を共有し連携を取りながら統廃合等を行う必要があると考える。

日本共産党議員団



もりした さちこ
森下 佐知子

個人情報保護

問 外部委託業者イセトーの情報漏えいを機に、庁内閉域システムに戻すことも含め検討してはどうか。

答 外部委託せずに対応することは現実的ではなく委託事業者に対する管理監督を強化し再発防止に努める。



さかくち たみこ
坂口 多美子

パートナーシップ制度

問 制度の導入は、住民の意識の変化を生み、性的マイノリティの人権保障や社会的地位の向上につながる。市としての導入が求められているが市長はどう思うか。

答 市単独では行わず、引き続き県市連携して行政サービスを行っていく。



みなみばた さちよ
南 畑 幸代

農業問題(米不足)

問 夏に米不足となった。国に対し、需要に十分応え、安定的に米作りができるよう、意見を上げてはどうか。

答 米価の価格変動に対し、セーフティネットの充実等効果的な対策をし、安心して生産に取り組めるよう、全国市長会で要望している。

日本維新の会



なかしやうや こうじろう
中庄谷 孝次郎

道路行政

問 坂田磯ノ浦線と磯ノ浦海水浴場駐車場をアクセス道路でつなげなければ、生活道路混雑は解消されない。

答 道路行政は、地元住民の声を集約し行っていく必要があるが、住民説明会の開

催に進展がない以上、アクセス道路の進捗が図れていないのも当然である。

連合自治会で意見集約ができていない以上、意見集約は市の仕事である。

早急にアクセス道路を建設するために、速やかに住民説明会を開催すべきであると考えるがどうか。

答 連合自治会内の意見集約が困難な状況であるため、今後は市が主体となり、連合自治会の協力も得ながら、速やかに説明会が開催できるよう努めていく。

声の市議会だより

(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 秘書広報課
☎435-1120 までご連絡ください。

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案6件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和6年度和歌山市一般会計補正予算(第3号)中、わかやま暮らし応援金事業300万円について。これは、本市へ移住する方に対して交付する応援金について、当初の見込みよりも申請が増加する見込みとなったため、増額補正するものです。



防災ラジオ貸与事業202万7千円について。これは、能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報発表などの影響により、市民の防災意識が高まったことから、申込数が想定を上回る見込みとなるため、増額補正するものです。

地域防災事業123万円について。これは、南海トラフ地震臨時情報発表を踏まえ、地震発生時の円滑な避難行動を促すため、海水

浴場周辺に避難誘導標識を設置するとともに、防災マップの増刷を行うものです。



避難誘導標識

議案第7号和歌山市災害派遣手当等の支給に関する条例の制定について。これは、本市が被災し、災害復旧のために他市町村から職員の応援派遣を受けた際に、当該職員に対し災害派遣手当を支給するとともに、武力攻撃事態等における国民の保護のための措置の実施及び特定新型インフルエンザ等のまん延防止のため、他市町村から職員の応援派遣を受けた際に、当該職員に対して武力攻撃災害等派遣手当及び特定新型インフルエンザ等対策派遣手当を支給するため条例を制定するものです。

なお、審査過程において、南海トラフ地震臨時情報の発表に伴う災害対策本部の設置状況などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



9月19日



9月24日

厚生委員会

当委員会に付託された議案8件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和6年度和歌山市一般会計補正予算(第3号)中、認定こども園等整備事業227万2千円について。これは、私立保育所の施設整備に対する補助事業について、国の要綱が改正され、交付基準額が増額となったことに伴い、事業費を増額補正するものです。

生殖補助医療先進医療費助成事業1005万5千円について。これは、保険適用の生殖補助医療と併用して実施される先進医療に要した費用の一部を助成するものです。

野犬対策強化事業165万6千円について。これは、野犬が増えている現状を踏まえ、早朝等における捕獲活動や改良型捕獲おりの導入など、野犬対策を強化するものです。

脱炭素化推進事業538万3千円について。これは、地域・暮らし分野の脱炭素化を推進するため、個人等が設置する太陽光発電設備等の費用を補助する事業について、当初の見込みよりも申請が

増加する見込みとなったため、増額補正するものです。

水質汚濁防止事業114万4千円について。これは、水質汚濁防止の観点から地下水の水質調査について地下水に含まれるPFAS(有機フッ素化合物)の実態把握を行うため、新たに検査項目を拡充するものです。



社会福祉施設災害復旧事業133万1千円について。これは、令和6年7月12日から15日までの豪雨により西庄ふれあいの郷公園内で発生した土砂流出等の復旧のため、堆積した土砂や倒壊の恐れのある樹木の撤去を行うものです。

なお、審査過程において、刑事事件の判決、新型コロナウイルス定期接種、令和7年度からの家庭ごみ収集運搬業務の委託、太陽光発電事業の進捗などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



9月20日



9月25日



委員会の模様をインターネットで配信しています!

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案3件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和6年度和歌山市一般会計補正予算(第3号)中、文化財調査事業237万8千円について。これは、友ヶ島砲台に係る文化財調査に対する国庫支出金について、年度途中での追加内示に伴い、友ヶ島砲台の位置・形状を記録する測量調査を実施するものです。

日本遺産活用環境整備事業(周遊促進)1159万4千円について。これは、日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」のエリア内における夜間を含めた回遊性を高めるため、ライトアップを行うとともに、インバウンドにも対応できる観光サイン看板の設置を行うものです。



サイン看板イメージ図

扇の芝整備事業5132万1千円について。これは、扇の芝の整備に係る土地の公有化に対する国庫支出金の追加内示に合わせて、増額補正するものです。

夜間中学校教室等整備事業5137万5千円について。これは、夜間中学校の令和7年4月開校に向け、教室等照明のLED化や教職員室等の整備を行うものです。

コミュニティセンター整備事業3676万5千円について。これは、令和7年度開館予定の和歌山市西コミュニティセンターについて、開館準備に係る備品購入等を行うものです。

小学校給食民間委託事業3億3574万5千円について。これは、吹上小学校外6校の学校給食調理の業務委託を行うものです。

なお、審査過程において、四季の郷公園について、和歌山県みどりの食料システム基本計画に基づく和歌山市の取り組み方針について(案)、附属機関の会議の開催について、夜間中学などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



9月20日



9月25日

建設企業委員会

当委員会に付託された議案12件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和6年度和歌山市一般会計補正予算(第3号)中、下水道施設管理事業2100万円について。これは、地域汚水処理施設の中継ポンプ場のポンプが故障したため、ポンプの取替を行うものです。

スカイタウンつづじが丘管理事業552万円について。これは、令和5年2月に一括売却を行った土地について、買取りを希望していない土地が含まれていたことが判明したため、売却を行った土地の一部を買い戻し、土地売買等に要した経費を賠償するものです。

民間建築物耐震改修促進事業3847万8千円について。これは、能登半島地震等の影響を受け、住宅の耐震化に対する関心が高まったことにより、民間建築物の耐震改修工事に対する補助について、申込みが当初の見込みを上回り、キャンセル待ちが発生している状況を鑑み、早期に耐震改修工事ができるよう増額補正するものです。

特殊勤務手当支給事業139万1千円について。これは、災害対策基本法に基づく避難指示エリア等の危険な区域などで救助活動等の危険を伴う業務に従事した緊急消防援助隊に対して特殊勤務手当を支給するものです。



能登半島地震に伴う災害救助活動

なお、審査過程において、令和6年度年末火災特別警戒、今後の水道事業及び水道料金についての説明会に関する説明内容及び主なご意見等について、自動運転実証運行、紀の川緑地基本計画などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



9月19日



9月24日

日台交流サミットin台南

遠藤会長はじめ日台友好和歌山市議会議員連盟は、丹羽議長と7月に台湾を訪問し、第10回日台交流サミットin台南に参加しました。サミットでは日本と台湾の多くの地方議員等が参加し、意見交換や交流を深めました。また、高雄市議会 康裕成 議長及び高雄市政府 陳其邁 市長を表敬訪問し、両市の交流について積極的な意見交換を行いました。日台友好和歌山市議会議員連盟は、今後も台湾との友好交流に努めてまいります。



議員連盟

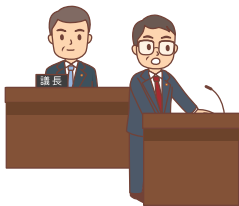
活動 レポート

Vol.30

森林環境保全促進和歌山市議会議員連盟は、水源地の保護や森林環境保全等を啓発するために活動しています。初の試みとして、夏休み期間中、市内在住の小中学生及び同伴保護者を対象に、紀の川の源流に位置する、奈良県川上村の学習施設「森と水の源流館」の入館無料キャンペーンを行いました。35名の方に来館いただき、森の役割や水の大切さを学習していただきました。



森と水の源流館



次の定例会は、
12月です!

市議会では、市民の生活に直結する福祉、教育、道路、防災など様々なことについて審議しています。本会議や委員会、どなたでも傍聴することができます。是非お気軽にお越しください。



生中継・録画中継が
ご覧いただけます。

広報委員会からのお知らせ

全国から、議会広報についての行政視察に来ていただいています!

中核市議会議長会議会報コンクールでの市議会だより3年連続受賞や、SNSの活用、動画制作に積極的に取り組んでいることなどから、全国の市議会から行政視察に来ていただいています。

7月・8月にも視察の受入れを行い、広報委員会から正副委員長出席のもと、まずは広報委員11名で撮影した手作りの歓迎メッセージ動画を見ていただきました。

その後、和歌山市の議会広報について説明し、質疑応答では活発な意見交換が行われるなど、交流を深めました。



和歌山市議会広報委員会

【委員長】中谷 謙二 **【副委員長】**堀 良子
【委員】山野 麻衣子 山路 恭世 清末 博善
 堀 登美子 辻本 太一 林元 光広
 坂口 多美子 永野 裕久

市議会だよりを採点してください!

議会広報アンケート
 実施期間:
 令和7年1月31日
 (金)まで



現在
★3.7!!
 ★★★★★☆
 R6.9月時点



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
 再生紙及び植物油インキを使用しています。

